

神奈川県立こども医療センターオレンジクラブ



ボランティアニュース

259号 2025年 9・10月号

発行 神奈川県立こども医療センター オレンジクラブ事務局

編集責任者 ボランティアコーディネーター 加藤 悦與

〒232-8555 横浜市南区六ツ川 2-138-4 Tel. 045-711-2351 (代表)

ホームページ <https://orangeclub.kcmcvolunteer.com>

ブログ <https://blog.kcmcvolunteer.com>



オレンジクラブ 50 周年おめでとうございます！

病院長 石川 浩史

オレンジクラブ 50 周年、おめでとうございます。

本ニュース 255 号から 258 号にかけての三木代表の解説、さらに 50 周年パネル展示を拝読し、オレンジクラブが長い歴史を紡いでいった経緯、さらには活動範囲を拡大し、院外の団体とも連携を深めてきたことを知りました。さらには 9 月 16 日のオレンジクラブ 50 周年感謝の会に参加させていただき、会場を埋め尽くしたボランティアのみなさまにお目にかかって、こんなにも多くの方がこども医療センターを支えていただいていることを知り、感銘と感謝の気持ちでいっぱいになりました。

ボランティア活動にご参加いただく方々のお気持ちはさまざまと思いますが、どなたにも共通しているのは、こどもたちが大好きというお気持ちだと思います。病気をかかえたこどもたちにとって、自分たちを尊重してくれる大人が家族以外にもいる、という事実は、かぎりない勇気と希望を与えることでしょう。こどもたちは、患者であると同時に、発育し発達するひとりの人間でもあります。ボランティア活動に参加されているみなさまのお気持ちは、必ずやこどもたちの健やかな発育・発達に寄与することと信じております。



本館の竣工から 20 年、周産期棟開設から 34 年、こころの診療病棟の竣工からは 50 年が経ちます。県や機構の財政状況もありリニューアルは容易ではありませんが、古い建物であっても温かみを持たせることはできると思います。病気をかかえた子どもたちを応援し、ひいては子どもたちが安心して育ってゆける神奈川県を作ることが、私たちこども医療センターの使命です。患者さん、ご家族の方々、ボランティアスタッフのみなさま、医療従事者など職員一同がひとつのチームとして、温かいこども医療センターをともに作ってゆきたいと考えています。

50 周年の節目にあたり、これまでボランティア活動に参加されたみなさまに感謝し、ご健康と今後のご活躍をお祈りいたします。まずは来年の 51 周年を、みなさまとともに無事に迎えられるように。その先には、オレンジクラブ 100 周年も見えてくることでしょう。
おめでとうございます！

オレンジクラブ感謝の会開催

ボランティアコーディネーター 加藤 悦與

私のオレンジクラブとのお付き合いは、コーディネーターとして 10 年余り、そしてそれ以前は看護師として長い間お世話になっておりました。一番古い記憶は、新館が立つ前の古い病棟にオレンジ色の三角巾とエプロンをつけてお子さんのお相手していたボランティアさんの姿です。1982 年の話ですがその方が早川禎子さんかと思います。現在もオレンジクラブ会員登録していて 46 年継続されておられます。オレンジクラブには、高校生の方も多く活動しています。その中には入院していた時にオレンジクラブの方にお世話になったと話して活動される方も少なくありません。そのような繋がりには、ボランティアの方も医療者も、そして私も元気を頂きます。

この度の感謝の会では、オレンジクラブへ、また 20 年以上活動を続けてこられた 25 名の方と令和 6 年度に 100 時間超える活動された 49 名の方に石川病院長から感謝状が渡されました。職員の方々からは、オレンジクラブの皆さんに、感謝の気持ちを込めた寄せ書きが渡されました。

感謝の会には、センターにイラストなど多くの作品を寄付してくださっているヨシタケシンスケさんが、ボランティア活動の一環として来て下さいました。活動するきっかけを作った菊島さんとの対談の予定でしたが、ご都合でヨシタケシンスケさんの講演になりました。その中でシンスケさんのお母さまがセンターでお話会をされていたことが話されました。また、集まった職員やボランティアの方 90 名に向けてのメッセージが届けられました。「居場所を皆さんで見つけられて、そこでいろいろな人と関わりながらお互いに救われていく。この場所は尊い。」と。

ボランティアさんたちの活動は、見えるものだけでなく、こころに残ることも多くあります。そのことがセンターの中や多くの方の中で循環しているように感じます。会員になられなくても、折り紙作品を届けて下さる方も大勢おられます。50 年続いている理由がたくさんあることにコーディネーターという立場からも感謝いたします。



職員からの寄せ書き



ヨシタケシンスケさんからの入院患者さん
お一人ずつへのメッセージ付のプレゼント



感謝の会のようす

ぽぽんた 勉強会 ～赤ちゃんに寄り添う読み方って？～

ぽぽんた勉強会担当 渡辺千春・武藤希代子・檜野よし子・石川正子

「赤ちゃんへの読み聞かせって難しいよね？」

「どうしたら赤ちゃんに喜んでもらえるかな？」

そんな声がメンバー間で上がり、「それなら勉強会をやってみよう！」と今回の勉強会に向けた準備が始まりました。

全てのメンバーが意見や質問を出しやすいように、そして他のメンバーのノウハウも学べる機会にするための工夫など、話し合いを重ねました。

当日は、5人ずつのグループに分かれ、実際に赤ちゃん向けの本を読みあい、感想や意見交換に時間をたっぷり使うことにしました。

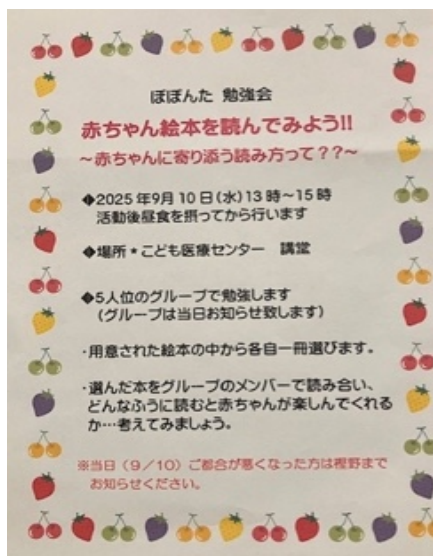
グループ形式の勉強会は初めてだったこともあり、うまくいくかどうかドキドキの担当メンバーでしたが、蓋を開けてみると各グループとも活発に意見交換が行われ、時間が足りないほどでした。

勉強会後には、「赤ちゃんの聴覚的な働きかけやリズムが大事」「他メンバーの多様な読み方を聞き、幅が広がった」などスキルや実践的な学びから、「読み聞かせを通じて、喜びを分かち合いたいと感じた」など読み聞かせへの姿勢など、様々な気づきが出てきました。

「少人数グループで意見を出しやすかった、理解が深まった。」という声も多く聞かれ、今後の勉強会にも役立てられそうです。

病棟のお子さん達に喜んでいただきたい、そのためにどうすればいいのか、という想いから始まった今回の勉強会。

これからもお話会でお子さん達が笑顔いっぱいになるよう、学びを深めていきたいと思います。



10月イベント

月	火	水	木	金
		1	2	3
			(HCU2) タッピングタッチ 14:00~15:00	
6	7	8	9	10
おもちゃで遊ぼう 10:00~11:00 クリーン 14:00~15:00 こころ 八景島シーパラダイス 『すいぞくかんに行こう』バスハイク one by ONE	クラウン クリーン・外来 ボランティア調整会議 14:00 第1会議室	ぼぼんた 5南4東つばさの木 (重心施設) ひだまりカレッジ 10:00 オンライン SHJ	(肢体つばさの木) SOC 10:15 オンライン	あっちこっち 4西
13	14	15	16	17
		SHJ 15:00 HCU2	ストーリータイム (ディズニー・講談社・ 日本テレビ共催) クリーン・5南・5西・ 重心・講堂	おもちゃで遊ぼう 10:00~11:00 HCU2 14:00~15:00 4南
20	21	22	23	24
フットサル 15:30 5西 16:30 通院患者さん対象 体育館	クラウン ・外来・4東 ・14:30~こころ ひろちゃんとフラダンス (重心施設・総合待合)	ぼぼんた 4西4南 HCU2	SOC 15:00 オンライン (全セクション対象) エリ先生と歌おう	
27	28	29	30	31

11日キッチンカーが来る！
面会のご家族や18歳以下のお子さんに無料提供

- ・きょうだい預かり 毎週月火水金曜日 11:00~17:00
- ・外来活動 月~金曜日 8:30~16:00
- ・患者図書 月~金曜日 10:00~14:00
- ・重心作業 毎週火・金曜日 10:00~12:00
- ・縫製活動 第2・第3水曜日 10:00~12:00
- ・園芸活動 第2・第4火曜日 (他火曜日適宜)
- ・フラワーアレンジメント毎月2回 (4か所)
- ・つるし雛 毎月第1月曜日
- ・作業 第4木曜日
- ・手芸 第3水曜日
- ・高野さんとピアノ 毎週火曜日 (お休み中)
- ・ピアサポート 毎週火~木曜日 10:00~14:00
- ・病棟活動 重心散歩 毎週水曜日 14:00~15:30
5南 水曜日午前・他適宜